

比較家族史学会

会報 比較家族史 82

事務局 〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル 9F
(株)毎日学術フォーラム内 比較家族史学会 ☎:03-6267-4550 FAX:03-6267-4555

Email:maf-jscfh@mynavi.jp 郵便振替 00130-4-25222(名義 比較家族史学会)

2024年 比較家族史学会 第74回 春季研究大会のご案内

【日程】 6月22日(土)・23日(日)

【会場】 静岡大学静岡キャンパス 人文 E201 (控室:人文 E101)

【開催方法】 対面 ただし、状況によってハイブリッド方式への変更可能性あり

【参加費・申込み】 参加費 会員 2500円、非会員 3000円、学生・院生無料

※申し込みはこちらのフォームまたはHPよりお願いいたします。

申し込み用フォーム: <https://forms.gle/dYe4UV6DAo9Ckju5A>

申し込み締切: **2024年6月12日(水)**

※懇親会の準備のため、懇親会参加希望の方はできるだけ6月6日(木)までにお申し込みいただきますよう、お願いいたします。

【懇親会】 静岡大学静岡キャンパス 大学生協第二食堂 (会費:4000~5000円を予定)

【会場校連絡先】 shirai.chiaki@shizuoka.ac.jp

【プログラム】

6月22日(土)

10:00~10:10 開会挨拶 三成美保(追手門学院大学)

10:10~10:13 大会運営についてのお知らせ 白井千晶(静岡大学)

10:15~11:30 自由報告 司会 中島満大(明治大学)

10:15~10:40 報告1 小島宏(早稲田大学先端社会科学研究所・招聘研究員)

「20世紀末の大学生における「性暴力」被害と健康」

10:40~11:05 報告2 白井千晶(静岡大学)、磯部美里(国際ファッション専門職大学)

「愛知県・篠島における現代の「若者組」について:現代の三重県・答志島の若者組との比較」

11:05~11:30 報告3 中谷純江(鹿児島大学グローバルセンター)

「近現代エラブ社会における女性の行為主体性 Agency of women in modern Erabu society」

11:30～12:00 総会

12:00～12:45 休憩

12:45～17:05 シンポジウム「系図と継承」

12:45～12:50 企画趣旨説明 高橋基泰（愛媛大学）

第Ⅰ部 『系図が語る世界史』から 司会 米村千代（千葉大学）

（＊は歴史学研究会編『系図が語る世界史』（青木書店、2002年）執筆者）

12:50～14:50 第1セッション「『系図が語る世界史』をふり返って」

12:50～13:15 亀長洋子（学習院大学・『系図が語る世界史』責任編集者）＊「中世イタリア・ジェノヴァ」

13:15～13:45 井上徹（大阪市立大学（現大阪公立大学）名誉教授）＊「中国の近世譜―珠江デルタへの普及―」

13:45～14:05 高橋基泰（愛媛大学）＊「近世・近代イギリスの家系図と継承」

14:05～14:20 討論 コメンテーター 小池誠（桃山学院大学）

14:20～14:50 ディスカッション

14:50～15:05 休憩

15:05～17:05 第2セッション「ヨーロッパおよび近代日本」

15:05～15:30 米村千代（千葉大学）「近代日本における系図と「家」―森岡清美の「家」研究の再読を通して―」

15:30～15:55 平井進（小樽商科大学）「ドイツにおける家系研究と歴史学」

15:55～16:20 佐藤睦朗（神奈川大学）「スウェーデンにおける系図学の現状と農村史研究との接点」

16:20～16:35 討論 コメンテーター 村山聡（香川大学名誉教授）

16:35～17:05 ディスカッション

17:45～19:45 懇親会（静岡大学静岡キャンパス 大学生協第二食堂）

6月23日（日）

第Ⅱ部 『系図が語る世界史』を超えて 司会 高橋基泰（愛媛大学）

10:00～12:00 第1セッション「東南アジア」

10:00～10:25 新井和広（慶應義塾大学）＊「インドネシアにおける預言者一族（サイイド）の現状について」

10:25～10:50 永野由紀子（専修大学）「バリ・ヒンドゥー村落の家族・親族の継承」

10:50～11:15 佐藤康行（新潟大学名誉教授）「タイ・クワイ人の家系」

11:15～11:30 討論 コメンテーター 藤井勝（神戸大学名誉教授）

11:30～12:00 ディスカッション

12:00～13:00 昼休憩

13:00～15:00 第2セッション「近世日本（旧上田藩上塩尻村）」

13:00～13:25 長谷部弘（東北大学名誉教授）「近世日本の百姓的世界における家系図作成の意味：旧上田藩上塩尻村佐藤家系図を手がかりに」

13:25～13:50 山内太（京都産業大学）「家系の継承と家業の継承」

13:50～14:15 岩間剛城（近畿大学）「旧上田藩上塩尻村馬場家譜について」

14:15～14:30 討論 コメンテーター 森本一彦（高野山大学）

14:30～15:00 ディスカッション

15:00～15:15 休憩

15:15～16:20 総合討論

16:20～16:30 閉会挨拶 李 璟媛（岡山大学）

【大会運営委員長・委員】

白井千晶（静岡大学・運営委員長）、高橋基泰（愛媛大学）、米村千代（千葉大学）、
犬塚協太（静岡県立大学）、奥田都子（静岡県立大学）、高畑幸（静岡県立大学）、
柴田賢一（常葉大学）、李璟媛（岡山大学）、土屋敦（関西大学）、宇野文重（尚絅大学）

委員会報告

【庶務委員会】

(1) 会員メーリングリストについて

イベント紹介など、皆さんに届けたいことがありましたら、庶務委員までお知らせください（田中 tanaka057@toyo.jp）。

(2) 会員情報の変更

会員情報に変更がある場合は、学会事務局までご連絡ください。所属・住所などの変更

のほか、65歳以上の会員で特別会員を希望する場合、10年以上継続して会員で終身会員を希望する場合もご連絡いただきますようお願い申し上げます。

また、会報をはじめ、種々の案内は ML でお送りしています。メールアドレスを変更された場合にも、学会事務局までご連絡ください。

(3) 会費納入

会費未納の方には再度、振込用紙を郵送いたします。本学会は、学会費によって維持されています。学会費が未納の会員については、学会費を納入していただきますようお願い申し上げます。

【企画委員会】

(1) 研究大会の日程は以下の通りになります。

①2024年度秋季研究大会会場

【会場】東北学院大学

【日程】調整中

【運営委員会】政岡伸洋（東北学院大学・大会運営委員長）ほか

【プログラム】自由報告、ミニシンポジウム「高学歴移民女性の移住過程におけるワークとケアワーク」（仮）

②2025年度春季研究大会会場および日程

【会場】愛媛大学

【日程】2025年6月28日（土）、29日（日）

【運営委員会】高橋基泰（愛媛大学・運営委員長）ほか

【プログラム】自由報告、シンポジウム「家族と暴力」（李環媛・税所真也）

③2026年度春季大会会場

【会場】追手門学院大学

【日程】未定

【運営委員会】三成美保（追手門学院大学・大会運営委員長、シンポジウム企画担当）ほか。

【プログラム】自由報告、シンポジウム「LGBTと家族」（三成美保）

(2) 出版関係

『シリーズ<家族のかたち>を考える』（法律文化社）について、『第1巻 <産みの親>と<育ての親>の比較家族史』、『第2巻 家族と病い』を編集中。

【編集委員会】

(1) 投稿論文の募集

『比較家族史研究』第39号(2025年3月末刊行予定)の投稿論文を募集いたします。投稿をご希望の方は、学会HP(成果公開)に掲示している投稿規程および執筆要領に従って原稿を作成し、必要事項を記入し、MSWord または PDF で保存した電子ファイルを、8月末までに、下記連絡先まで e-mail 添付で送信してください。

(2) 書評・文献紹介対象書の推薦

書評・文献紹介をご希望の方は、8月末までに、下記連絡先まで著書をお送りください。自薦他薦を問いません。

(3) 投稿等に際しての注意

投稿者は、比較家族史学会会員であることを原則とします。会員でない方は、7月中に入会申込みをしてください。書評・文献紹介対象書の推薦者についても、同様です。

投稿された原稿(写真・図表を含む)は、掲載の可否に関わらず、原則として、返却しません。書評・文献紹介対象書として送付された著書についても返却しないので、予めご承知おきください。

(4) 比較家族史研究第38号

『比較家族史研究』第38号を刊行し、発送しました。もし、お手元に届いていない場合は、下記の連絡先までお知らせください。

【連絡先】編集委員長 床谷文雄

〒631-8502 奈良県奈良市山陵町 1500 奈良大学

e-mail: tokotanif アットマーク daibutsu.nara-u.ac.jp

*アットマークを@に置き換えてください。

【渉外委員会】

(1) 第14回基礎法学総合シンポジウムのご案内

今回の基礎法学総合シンポジウムは比較家族史学会が企画担当です。

テーマ:「婚姻は、いかなる意味で、どこまで「契約」なのか 一歴史・比較・展望一」

日時: 2024年7月20日(土) 13:00~、オンライン開催

主催: 日本学術会議法学委員会、共催: 基礎法学系学会連合(比較家族史学会、法社会学会、法哲学会、法制史学会、比較法学会、民科法律部会)

プログラム概要：

「企画趣旨説明」（小谷眞男）

「中世教会法における婚姻と契約」（川島翔）

「婚姻の契約性をめぐる西洋とイスラムの位相—比較法及び国際私法の視点から—」（西谷祐子）

「近代における『契約としての婚姻』—法と社会との乖離の観点から」（田巻帝子）

「婚姻の契約化と婚姻廃止論：婚姻法と親子法の幸せな「離婚」は可能か」（池田弘乃）

「コメント」（斎藤笑美子）

総合討論（司会：小谷眞男・高橋一彦）

参加登録用ウェブサイト（参加申込は 7/16 まで）

<https://sites.google.com/view/kisohosympo2024>

問い合わせ先：基礎法学系学会連合事務局 kisohogaku@gmail.com

(2) EASP/FISS 2024年京都大会のご案内 (<https://www.easp-fiss-2024.com/>)

東アジアの社会政策研究者を中心とした国際ネットワーク East Asian Social Policy Network は、Foundation for International Studies on Social Security と共同の大会を実施します。日程は2024年6月13-14日、場所は国立京都国際会館です。プレゼンテーションの申し込みはすでに締め切り、口頭報告は約150、パネルセッションも6予定され、またポスター参加も100名を超え、総参加者は400名程度が見込まれています。比較家族史学会会員も発表し、落合恵美子会員が基調講演を行います。東アジアのみならず、欧米圏からの参加も多く、社会政策研究のグローバルな現状を知るのに最適な機会ですので、どうぞご参加ください。参加登録は5月まで受け付けています。

理事会議事抄録

2023年12月9日（土）にオンラインで開催された理事会の議事録抄録を掲載します。

1. 庶務委員会

会員情報について報告があった。

2. 編集委員会

(1) 『比較家族史研究 38号』（2024年3月刊行予定）の編集について進捗状況が報告された。

(2) 『比較家族史研究』38号から発行部数を400部に変更する提案について承認された。

(3) 『比較家族史研究』バックナンバーおよび書籍の在庫管理について報告された。

(4) 『比較家族史研究』39号(2025年3月刊行予定)の編集について進捗状況が報告された。

3. 企画委員会

(1) 2023年度秋季大会の参加者数(会員34名、非会員13名、学生8名=55名)が報告された。

(2) 2024年度春季研究大会シンポジウムについて、シンポジストの会員数に関する正式な基準はないが、慣習としては過半数になるよう維持することが承認された。

(3) 2024年度秋季研究大会会場について承認された。

4. 渉外委員会

(1) 日本学術会議の基礎法学総合シンポジウムの企画の進捗状況が報告された。

(2) 「人文社会科学系学協会男女共同参画推進連絡会」 Gender Equality Association for Humanities and Social Sciences (GEAHSS 略称ギース) への加盟について承認がなされた。

5. HP委員会

英文HP作成を開始したことが報告された。